



2022年8月5日・8日

「令和5年度 AMED橋渡し研究プログラム」説明会
橋渡し研究支援機関 国立がん研究センター

「令和5年度 AMED橋渡し研究プログラム シーズ支援課題の募集」 について

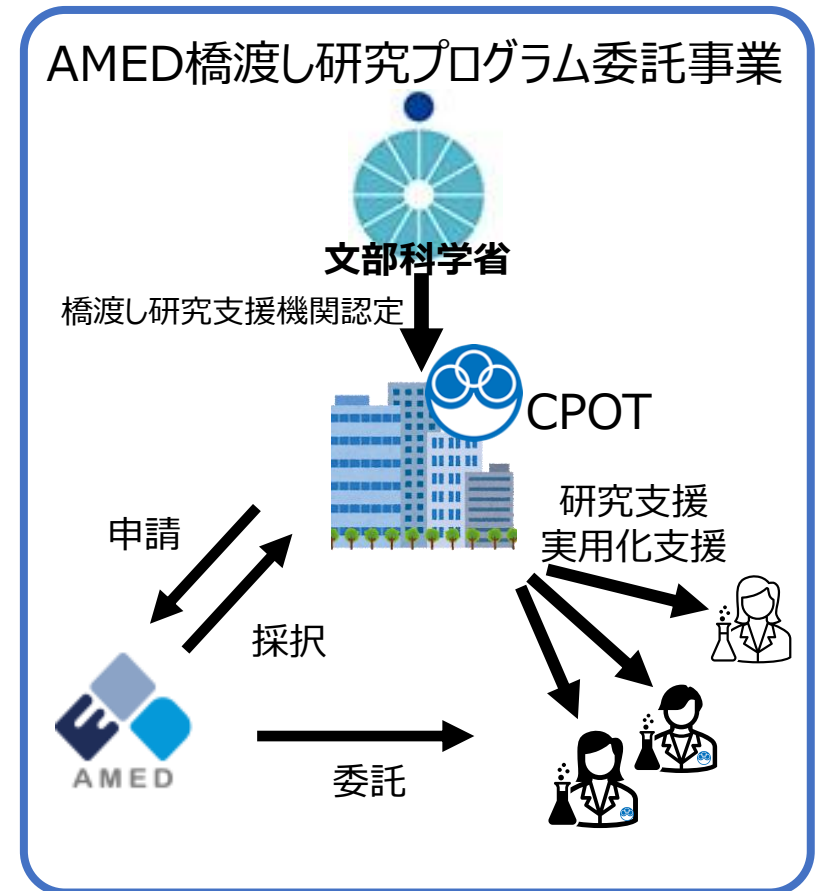
～preF、シーズF、シーズB及びシーズC～

国立がん研究センター
橋渡し研究推進センター



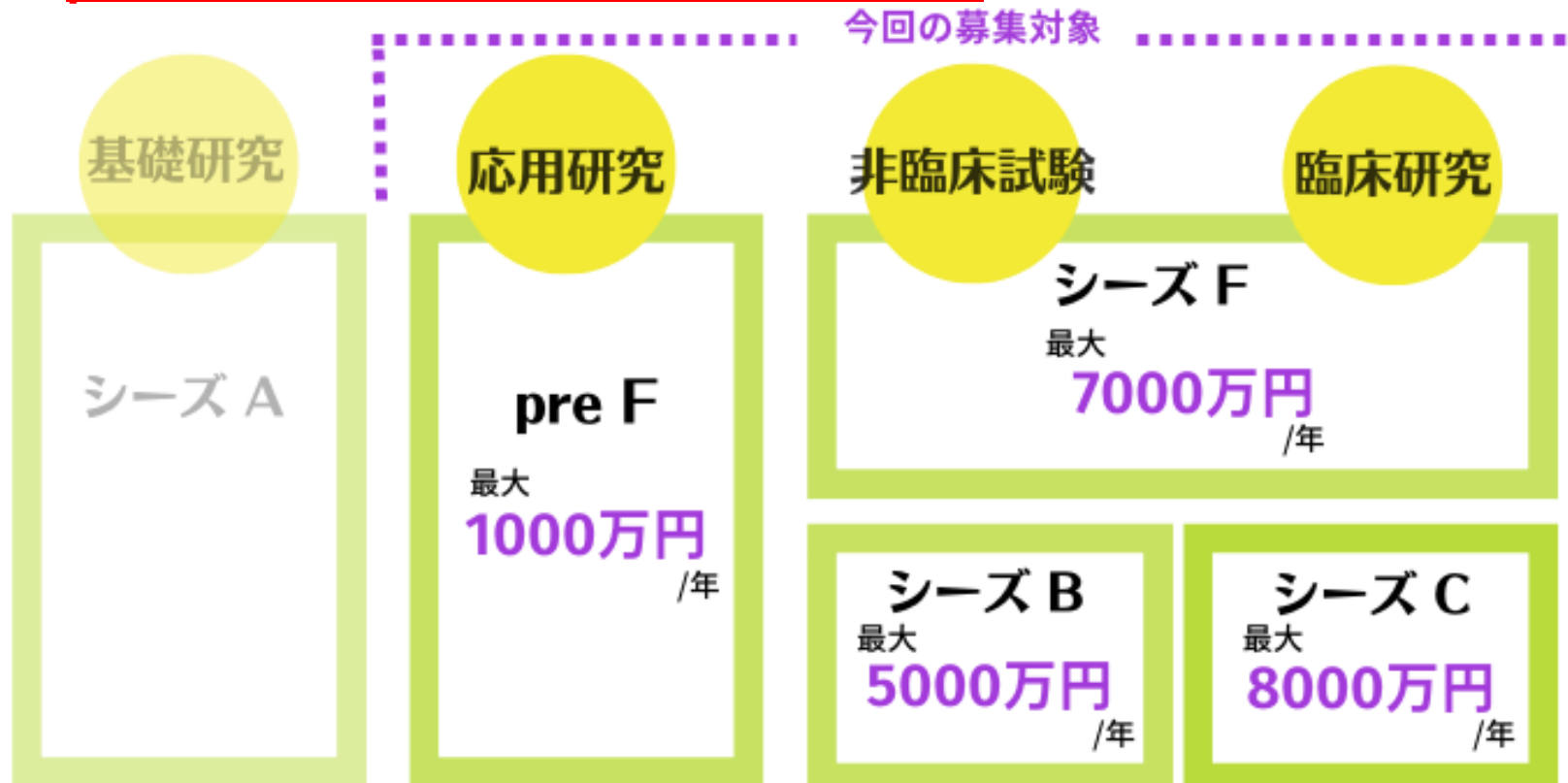
AMED橋渡し研究プログラムにおけるCPOTの役割

- 国立がん研究センター橋渡し研究推進センター（CPOT）は、「橋渡し研究支援を実施する拠点」として、**国立がん研究センター内部および外部アカデミア機関**のシーズの育成や、企業とのマッチングおよび導出に向けた活動の効率化・活性化のため、候補シーズの募集と登録を行う。
- CPOTは国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「橋渡し研究プログラム（特に委託事業）」において、申請の窓口、及びAMEDと研究者の架け橋となる。
- 採択課題において、プロジェクトマネジメントをはじめ、実用化までの研究支援を行う。



募集区分の概要

- 「橋渡し研究プログラム」の支援シーズ区分は、特許取得状況、非臨床・臨床POCの取得状況、企業連携の有無などにより、シーズA、preF、シーズF、シーズB、シーズCに区分される。
- 本公募では、**preF、シーズF、シーズB及びシーズCを対象とし**、支援を希望するシーズを募集する。



※シーズ区分別の「研究期間・研究費の規模の目安と応募条件」は次ページに掲載

「令和5年度 AMED橋渡し研究プログラムシーズ支援課題の募集」について | AUG 2022 | 3

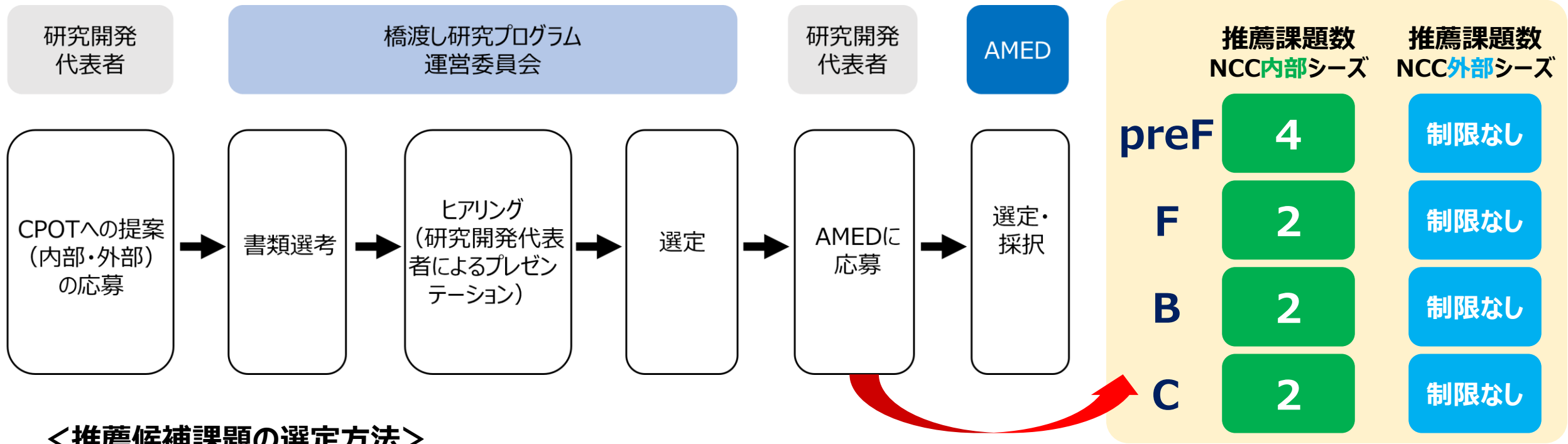


募集区分について

シーズ区分	研究期間・研究費の規模の目安と応募条件
preF : 関連特許出願済みで非臨床POC取得に必要なパッケージの取得を目指す課題	<ul style="list-style-type: none">➤ 2年間、1,000万円/年度➤ 研究開発実施予定期間内に治験開始に必要な非臨床試験の項目についての対面助言を終了および企業との連携を行うための計画が立てられていること
シーズF : 関連特許出願済みかつ、開発にあたって企業連携が確立しており、非臨床POC取得および治験届提出を目指す課題、医療への適応のため早期・戦略的な企業導出を目指す課題	<ul style="list-style-type: none">➤ 5年間、前半2年間、7,000万円/年度、後半3年間、9,000万円/年度（ステージゲート通過後）➤ アカデミアと企業の共同提案、連携企業および導出予定先企業における引き受け後の開発方針、PMDA対面助言を実施していること
シーズB : 関連特許出願済みで非臨床POC取得を目指す課題	<ul style="list-style-type: none">➤ 最長3年間、5,000万円/年度➤ PMDA対面助言を実施していること
シーズC : 関連特許出願および非臨床POC取得済みで、治験開始を目指して1年度以内に臨床試験の準備を完了し、その後2～3年度以内に臨床POC取得を目指す課題	<ul style="list-style-type: none">➤ 1年目、1,000万円/年度 ステージゲート後最長3年間、8,000万円/年度➤ ステージゲートまでに対面助言を終了し、通過後、速やかに治験開始できること



「橋渡し研究プログラム」への推薦候補課題の選考



<推薦候補課題の選定方法>

橋渡し研究推進センターが事務局となる運営委員会により、書類審査および必要に応じてヒアリング審査が実施される。

<推薦候補課題の選定フロー>

preF、シーズF、シーズB、シーズCについては、橋渡し研究推進センターが事務局となる運営委員会が応募課題の中から推薦課題を選定し、研究代表者及びCPOTからそれぞれ必要書類をAMEDに提出・応募する。その後、AMEDが各機関から推薦された課題を審査し採択する。

スケジュール（予定）

- 8月1日（月） 応募開始
- 8月5日（金） 第1回説明会（Zoomミーティング）
- 8月8日（月） 第2回説明会（Zoomミーティング）
- **9月1日（木）** **正午 応募締め切り**
- ~9月下旬 書類審査
- ~10月中旬 ヒアリング（必要に応じて）
- 11月上旬~12月中旬 AMED公募開始（予定）

応募方法について

<応募期限>

令和4年9月1日（木）正午



<応募方法>

- 各提案書様式を下記URLまたは右のQRコードよりダウンロード
(https://www.ncc.go.jp/jp/cpot/seeds_recruit/2023/index.html)
- 所定の提案書を作成する
- 提案書ファイルをメールに添付し、応募窓口 (cpot_boshu@ml.res.ncc.go.jp) に送付

<問い合わせ先>

橋渡し研究推進センター シーズ募集事務局 (cpot_boshu@ml.res.ncc.go.jp)



選定のポイント

1. 提案書に下記四点を明確に記載する。

① **新規性**

② **優位性**

③ **医療現場での必要性**

④ **計画妥当性**

➤「②優位性」に関しては、類似研究（ゴールが似ているものも含め）との**差別化点**を明確に記載する。

➤「③医療現場での必要性」に関しては、**臨床現場での課題点と解決策**を記載する。

➤「④計画妥当性」に関しては、

- **無理な研究計画は記載しない。**
- **ゴールとタイムライン**を明確に記載する。
- 幾つかの実験を並行して走らせる際には、必ず**優先順位**を記載する。
- **過剰な研究計画は減点**となる。

2. **他研究費（公的、共同研究）を獲得している場合には、研究内容の切り分けを明確にする。**

➤本研究費で報告する研究内容は、他研究費を用いて報告する研究内容とダブらないようにする。

